

住民主体のまちづくり

No.7 2014. 6

編集発行：車尾地域づくりモデル検討会

■テーマごとの懇談

検討会では、検討委員が、テーマ別に分担して企画実施することになった。

実施するキーワードとして、

- ①焦らず、しかし着実に回数を重ねて、目的意識を高めていく。
- ②意見を出し合う中から、地域課題を見つける。
- ③懇談の中に、ワークショップを取り入れる。
の3つを考慮する。

■第1回「防災」をテーマの懇談

検討委員の趣旨説明の後、自治会長1名、消防団4名、民生委員3名、社福会長1名、検討委員2名で自由討議を行いました。

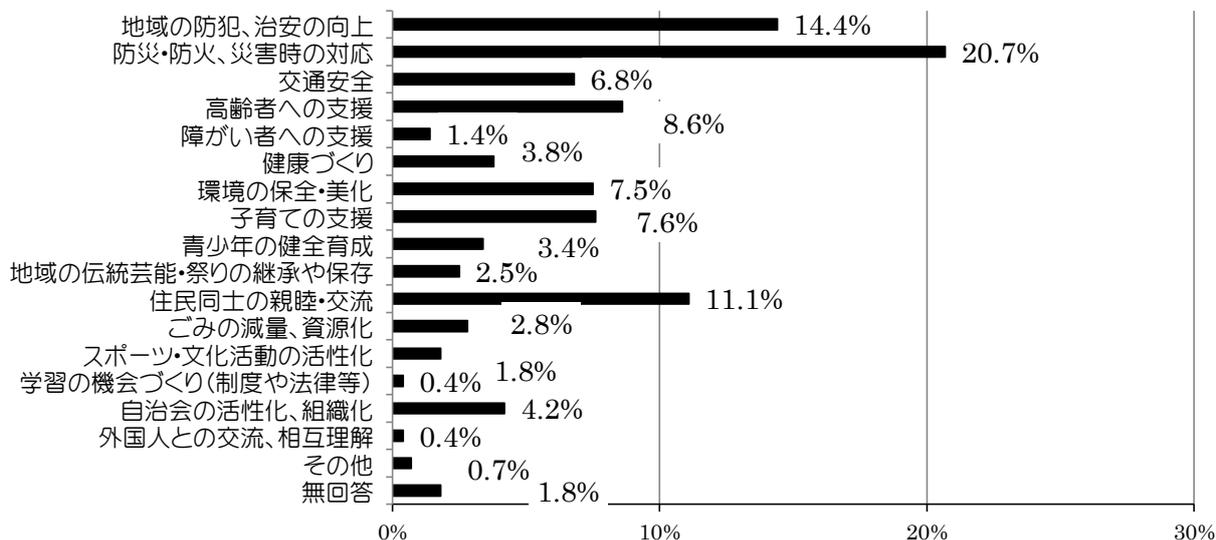
主な意見は、

- ・自主防災組織の結成が少ない
- ・運動会後の反省会に、炊き出し訓練を活用する自治会がある。
- ・日野川の決壊に対する対応も話し合う必要がある。
- ・避難所での環境に、医療チームが必須。
- ・消火栓の除雪を近隣住民で。配置図を自治会へ。
- ・除雪を、機材のある事業所や個人に委託しては(防災協定を結ぶ)・観音寺新町の排水路が狭い。
- ・避難時に要援護者とどうかかわるか具体策が難しい。
- ・AED設置個所をまず知ることが一番。
- ・自治会として、世帯カードの扱いが課題である。
- ・災害の種類で、逃げ場が違うこと知る。
- ・消防団員の高齢化と人数不足が課題である。
- ・昨年の大雨で、日野川もかなり増水した。
・・・などです。

■住民アンケートの集計より（平成25年8月下旬実施）

869世帯から回答をいただき、回答率は36.2パーセントでした。引き続き結果を載せていますので、参考にしてください。

地域で取り組むべき課題は、どんなことでしょうか。（3つまで）



自分たちのまちは 自分たちの力で